

# 環境活動レポート 2014

(運用期間：2014年8月～2015年7月)

2015年10月31日 作成

株式会社スリーピングサービス

# 目 次

1. 会社の概要
2. 事業内容
3. 環境方針
4. 2014年度実績
5. 2015年度環境目標と活動計画
6. 環境活動計画の取組結果とその評価
7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果
9. 施設等の状況
  - (1) 収集運搬車両の状況
  - (2) 積替え保管施設の面積と保管上限量
  - (3) 処理施設の種類等
  - (4) 処理工程図
  - (5) 処理実績(受託した産業廃棄物の処理量)
10. 地域貢献活動の今

# 1. 会社の概要

【会社名】 株式会社スイーピングサービス

【代表者】 代表取締役 田邊 昌志

【設立】 1973年(昭和48年)7月20日

【資本金】 3,000万円

【売上高】 541,730千円(2015年7月期)

【従業員数】 38名

## 【事業所、敷地面積】

- (a) 本社 東京都あきる野市瀬戸岡360番地1  
298㎡ TEL. 042-597-6112
- (b) 日の出事業所 東京都西多摩郡日の出町平井15番地10  
801㎡ TEL. 042-597-6111
- (c) 立川支店 東京都立川市高松町3丁目8番4号ファールTKT2階  
44㎡ TEL. 042-527-2066
- (d) 南多摩支店 東京都稲城市東長沼1735番地7エクセル稲城104号  
17㎡ TEL. 042-370-0068
- (e) 武蔵野支店 東京都西東京市芝久保町3丁目15番24号メゾン芝久保103号  
13㎡ TEL. 042-452-0232
- (f) 汚泥処理施設 東京都西多摩郡日の出町平井26番地1  
3,544㎡ TEL. 042-597-6112

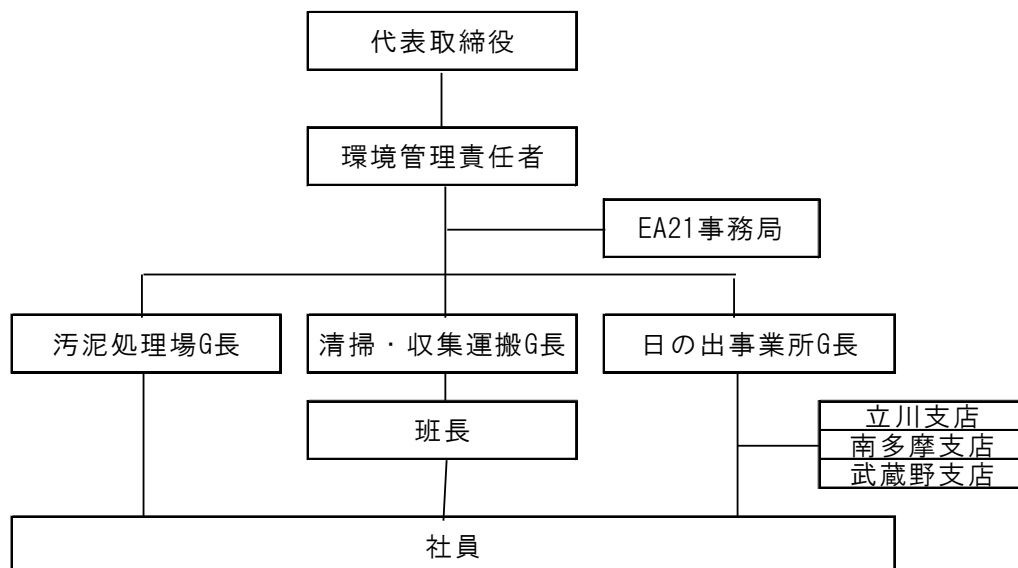
## 【エコアクション21対象事業所】

全社

## 【環境管理責任者及び事務局】

環境管理責任者 取締役 小林 秀次  
事務局 顧問 土方 清孝  
TEL. 042-597-6111 FAX. 042-597-6115

## 【組織図】



## 2. 事業内容

- 【事業内容】 (1) 廃棄物処分業務（汚泥処理）  
 産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、保管積替  
 一般廃棄物の収集・運搬
- (2) 清掃・維持管理業務  
 道路公園、建物、路面、貯水槽、浄化槽、管渠、厨房、  
 グリストラップ、清掃下水道管漏水・TVカメラ調査、  
 処理施設の保守管理

### 【優良性基準適合認定/公益財団法人東京都環境公社】

認定の区分	第1種評価基準適合業者（産廃エキスパート）	
業の区分	収集運搬業（積替え保管含む）	中間処理業
認定番号	1-13-B0085	1-13-C0080
有効期間	平成26年12月25日～平成28年3月31日	

### 【許可の内容】

<産業廃棄物収集運搬業>					許可品目											
No	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日	有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	リット・陶磁器くず	ガラス・コンクリート	鉱さい	がれき類
1	東京都	13-10-005352	平成26年2月1日	平成31年1月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	神奈川県	01400005352	平成24年8月22日	平成29年8月21日		●	●	●	●	●	●	●	●			●
3	埼玉県	01101005352	平成26年10月27日	平成31年8月27日	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
4	千葉県	01200005352	平成24年11月21日	平成29年11月20日		●	●	●	●	●	●	●	●			●
5	山梨県	01900005352	平成25年10月23日	平成30年10月22日		●		●	●	●	●	●	●			●
<産業廃棄物処分業>																
6	東京都	13-20-005352	平成23年7月23日	平成28年7月22日		●										
<一般廃棄物収集運搬業>					許可品目											
7	福生市	第2516号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	事業系一般廃棄物											
8	瑞穂町	瑞住生許可第12-3号	平成26年9月20日	平成28年9月19日	缶・ビン・紙くず・木くず											
9	青梅市	許可収・運第68号	平成26年10月1日	平成28年9月30日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
10	檜原村	26許可第3号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	道路の清掃により発生する廃棄物											
11	羽村市	許可一廃収第31号	平成28年9月26日	平成28年9月25日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
12	日の出町	25日生第12270号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	浄化槽汚泥、道路・公園及び河川の清掃により発生する廃棄物											
13	あきる野市	あ環生収第445号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	浄化槽汚泥、道路・公園及び河川の清掃により発生する廃棄物											
14	奥多摩町	奥住第194号	平成26年10月29日	平成28年10月28日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
<建築物飲料貯水槽清掃業登録証明書>					備考											
15	東京都	9貯第1429号	平成24年4月10日	平成30年4月9日												
<建設業許可>					業の区分											
16	東京都	東京都知事許可（般-23）第115850号	平成23年8月15日	平成28年8月14日	土工事業、とび・土工事業、管工事、造園工事、水道施設工事											
<浄化槽保守点検業者登録通知書>					備考											
17	東京都	浄保（8）第230号	平成25年2月25日	平成30年2月24日												
18	八王子市	八浄保第19-9号	平成25年2月25日	平成30年2月24日												
<浄化槽清掃業許可証>					備考											
19	あきる野市	あ環環収第627号	平成26年4月1日	平成28年3月31日												
20	日の出町	26日生第11631号	平成27年4月1日	平成28年3月31日												

### 3. 環境方針

## 環 境 方 針

### <基本理念>

株式会社スリーピングサービスは、産業廃棄物収集運搬・中間処理業を通じて地域社会に快適な生活環境を創造し、汚泥処理の分野で「環境に貢献する企業」を目指します。

### <行動指針>

1. 環境負荷の継続的改善  
エコアクション21を積極的に運用し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 法令遵守  
当社業務に適用される環境関連法規等を遵守します。
3. 環境活動への取組み  
当社の事業特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取組みます。
  - (1) 環境負荷の削減  
省エネルギー・省資源
  - (2) 環境取組の推進・向上  
グリーン購入の推進  
環境美化の推進  
リサイクルの推進
4. 実施態勢の確立と環境教育  
エコアクション21の機能を効果的・効率的に推進していくために、社内の実施態勢を確立し全社員への環境教育に努めます。
5. 環境目標の設定  
この環境方針を達成するために、環境目標を設定し、定期的に見直し環境改善に努めます。

制定 2014年1月1日

株式会社スリーピングサービス

代表取締役 田邊 昌志

#### 4. 2014年度実績

重点施策	項目		単位	基準年 (2012年度)	2013年度 実績	2014年度			中期目標の達成					
						目標値	実績値	評価	2014年度	2015年度	2016年度			
						100	目標値比		実績値比	-	-			
				100	基準年比	基準年比	基準年比	評価	-	-				
1. 環境負荷の削減	1.1 省エネルギー・省資源	二酸化炭素排出量削減(*)		kg-CO2	217,562	218,604	218,383	245,941	×	215,386	214,041	212,696		
							100.0	112.6%		114.2%	-	-		
					100	100.5%	100.4%	113.0%	×	×	-	-		
		軽油燃料 消費量削減	清掃・収集運搬G	ℓ	63,331	63,253	63,139	72,974	×	62,698	62,381	62,064		
									100.0	115.6%		116.4%	-	-
					100	99.9%	99.7%	115.2%	×	×	-	-		
	電力 使用量削減	日の出事業所G	KWh	110,691	113,377	113,263	117,312	×	109,584	108,477	107,370			
								100.0	103.6%		107.1%	-	-	
				100	102.4%	102.3%	106.0%	×	×	-	-			
	上水使用量削減	汚泥処理場G	m <sup>3</sup>	3,302	2,027	2,024	2,348	×	3,005	2,972	2,939			
						100.0	116.0%		78.1%	-	-			
			100	61.4%	61.3%	71.1%	○	○	-	-				
1.2 自社廃棄物排出量	一般廃棄物削減	全社	kg	(2013.10調査:108t)	617	615	605	○	609	603	597			
								100.0	98.4%		99.4%	-	-	
								-	-	-	-	○	-	-
2. 環境取組の推進・向上	2.1 グリーン購入の推進	グリーン購入率の向上(金額)	全社	%	18.0	18.0	19.0	38.3	○	25.0	30.0	35.0		
									100.0	201.6%		153.2%	-	-
									100	100.0%	105.6%	212.8%	○	○
	2.2 受託した産業廃棄物の環境配慮	3Rの推進	汚泥処理場G	-	-	選別向上策の立案	持出量削減策の検討	処理方法決定	○	○	-	-		
	2.3 環境美化の推進	生活環境影響評価(騒音)	汚泥処理場G	-	-	2013.6から実施	測定実施と規制値内の確認	各月実施	○	○	-	-		
	地域貢献活動	全社	-	-	-	実施	地域清掃の実施	年11回実施	○	○	-	-		
2.4 全従業員の参加	教育・説明会	全社	-	-	実施	自らの役割と責任の自覚	2014.10活動計画の説明	○	○	-	-			

(\*)：二酸化炭素の排出係数は、東京電力の2011年度排出係数0.464kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した

## 5. 2015年度環境目標と活動計画

### <環境活動方針>

社員ひとり一人が参画意識を持ち、行動計画を実行し、環境活動に積極的に取り組むこと。

### <重点施策>

- (1) 軽油燃料消費量の削減
- (2) 活動にあたっては「PDCAサイクルを回す」こと

【P:計画の策定】				【D:計画の実施】		
活動項目	目的	目標値	担当部門	実施方法 (詳細は個別計画参照)		
1. 環境負荷の削減	1.1 省エネルギー・省資源	軽油燃料消費量削減	72,245 L 前年実績比1%削減	清掃・収集運搬G	1) エコドライブ推進、エコ講習参加 2) 作業方法の改善 3) 暖気運転の短縮・中止	
		電力使用量削減	41,667KWh 前年実績比1%削減	日の出事業所G	1) 事務室・食堂の空調温度の管理 2) 室内の照明→昼休み消灯、倉庫は使用時のみ 3) 自動販売機・給茶機の夜間電力使用抑制継続、他	
			74,471KWh 前年実績比1%削減	汚泥処理場G	1) 管理事務室の空調温度の設定 2) 設備の作業前試運転時間の標準化	
	上水使用量削減	2,324m <sup>3</sup> 前年実績比1%削減	汚泥処理場G	1) 洗車時、再生水の使用 2) 設備点検 3) 洗車時間を守る		
1.2 自社廃棄物排出量	一般廃棄物削減	599kg 前年実績比1%削減	全社	1) 再生紙コピー紙の裏紙利用推進		
	産業廃棄物削減	リサイクル促進	全社	1) 発生時リサイクルの徹底		
2. 環境取組の推進・向上	2.1 グリーン購入の推進	グリーン購入比率の向上 (金額ベース)	20.0%	全社	1) エコ商品の検索	
	2.2 受託した産業廃棄物の環境配慮	3Rの推進	持出量の削減	全社	1) 有機汚泥残渣物処理設備の設置	
	2.3 環境美化の推進	生活環境影響評価	騒音測定の実施と規制値内の確認	汚泥処理場G	1) 騒音測定の実施	
		地域貢献活動	地域清掃の実施	全社	1) 毎月地域清掃の実施	
2.4 全従業員の参加	教育・説明会	自らの役割及び責任の自覚	全社	1) EA21の意義・重要性の周知徹底		

### 【PDCAサイクル】

#### P:計画の策定 (Plan)

活動方針を踏まえ、活動項目、目的、担当部門、実施方法、その時期を決めること (責任者)  
活動計画を全社員に周知する (環境管理責任者)

#### D:計画の実施 (Do)

実施方法=個別活動計画・進捗管理表の「具体的施策」を実行すること (社員全員)

#### C:取組状況の確認及び評価 (Check)

毎月初に前月の進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する (責任者)  
3ヶ月毎に進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する (環境管理責任者)

#### A:全体の評価と見直し (Action)

前月及び今後の取組み状況が未達の場合、「具体的施策」を見直す (責任者、環境管理責任者)

## 6. 環境活動計画の取組結果とその評価と今後の取り組み

### (1) 軽油燃料消費量の削減

- ・ アイドリングストップ等エコドライブの実践、エコドライブ講習の計画的な受講を実施しましたが、目標は未達（115.6%）となりました。これは仕事量の増加、遠隔地での仕事が多かったことが大きく影響しました。
- ・ 2015年度も重点項目とし、目標の達成に努めます。

### (2) 電力使用量の削減

- ・ 目標未達（103.6%）となりました。省エネルールを徹底しましたが、設備稼働時間の増加、夜勤の増加が影響しました。
- ・ 改築した工場外壁の照明に、当社で初めてとなるLED照明を採用しました。
- ・ 2015年度も省エネルールの徹底に取り組みます。また、管理区分を日の出事業所と汚泥処理施設の二区分とし、それぞれ活動を行います。

### (3) 二酸化炭素排出量の削減

- ・ 軽油燃料、電力ともに目標未達のため二酸化炭素排出量の削減も未達（112.6%）となりました。

### (4) 上水使用量の削減

- ・ 節水意識を持ち取り組みましたが、目標は未達（116.0%）となりました。仕事量の増加とこれに伴う再生水が不足し、上水の使用量が増加しました。
- ・ 2015年度も節水に取り組み、目標の達成に努めます。

### (5) 一般廃棄物の削減

- ・ 活動計画に取り上げたコピー紙の裏紙利用の促進等が浸透し、目標を達成（98.4%）しました。
- ・ 2015年度も同様に取り組みます。

### (6) 産業廃棄物の削減

- ・ 2014年度は自社産業廃棄物は発生していません。
- ・ 今後発生の際は、リサイクルの促進に取り組みます。

### (6) グリーン購入率の向上（金額ベース）

- ・ 目標を大幅に上回り（201.5%）しました。これはプロジェクター購入、会社案内の更新など当期限りの購入が大きく影響しました。
- ・ 衛生用品はすべて再生品に変更し、購入比率は100%となりました。
- ・ 2015年度も同様に取り組みます。

### (7) 3Rの推進

- ・ 「持出量の削減（処理委託量の削減）」をテーマとし、有機系汚泥残渣物の自社処理に向け様々な方法を検討し、処理方法を決定しました。
- ・ 2015年度は新設備の設置に取り組みます。



## (8) 環境アセスの実施

- ・「騒音」測定を汚泥処理施設の敷地境界を含む4点で毎月1回行いました。
- ・4点全てで基準値を超える値は測定されませんでした。
- ・2015年度も同様に取り組みます。

## (9) 地域貢献活動

- ・対象エリアを3区域に分けて毎月清掃を行い、地域の住民から好評を得ています。2014年も天候不順の影響により、実施出来ない月が1回ありました。
- ・2015年度も同様に取り組みます。

## (10) 教育・説明会

- ・2014年度は当年度の環境目標と個別活動計画の内容について説明会を開催しました。
- ・2015年度も同様に取り組みます。

## (11) カーボンオフセットへの取り組み

- ・2011年度以降、事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量の一部をカーボンオフセットしています。
- ・バウンダリ（対象範囲）は、廃棄物処理工場の稼働、清掃維持管理、事務所、営業車両で使用したエネルギーから発生するCO<sub>2</sub>排出量とし、国内クレジットを行っています。
- ・2014年度はCO<sub>2</sub>排出量は334,000kg-CO<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>償却量は334,000kg-CO<sub>2</sub>とそれぞれ前年より増加しました。
- ・2015年度も継続して取り組みます。

## 7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

- (1)「環境法令等遵守チェックリスト」にもとづきチェックを行った結果、法律・条令について違反はありません。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・当環境レポートは、エコアクション21の活動期間が1年間フルとなるレポートです。
- ・今年7月には初めての中間審査を受け、適合の判定を頂きました。これは社員全員の参加による結果であります。
- ・環境関連法規の遵守は環境ビジネスに生きる当社の基本です。エコアクション21においても法令順守の徹底を求めます。
- ・重点施策とした軽油燃料・電力・上水の使用量削減は、共に大幅な目標未達となりました。行動計画のプロセスに問題は見受けられず、仕事量の増加が影響していることと判断します。業務の性格上エネルギーなしに仕事を行うのは困難ではありますが、仕事量の増減の影響を受けにくい指標づくりを期待し、2016年度から反映できるよう検討を始めて欲しい。
- ・重点施策以外の環境目標は達成をしました。
- ・2015年度より電力使用量の区分の変更を行います。日の出事業所と汚泥処理施設の2区分とし、環境活動を明確にします。

## 9. 施設等の状況

### (1) 収集運搬車両の状況

車両の種類	積載量	台数	環境保全対策等	排ガス規制適合車	E C Oドライブ
高圧洗浄車	3t	1	密閉式タンク車	○	○
	4t	1			
吸引車	2t	4			
	4t	2			
	5t	1			
	8t	1			
ダンプ車	10t	2			
	2t	1			
	4t	1			
アームロール車	4t	1	—	規制対象外	
路面清掃車	-	1			

### (2) 積替え保管施設の面積と保管上限量

積替え保管施設の面積	保管上限量		
	3,543.6㎡	廃プラスチック類	8m <sup>3</sup> コンテナ1個
紙くず		同上	8m <sup>3</sup>
木くず		同上	8m <sup>3</sup>
繊維くず		同上	8m <sup>3</sup>
金属くず		同上	8m <sup>3</sup>
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		同上	8m <sup>3</sup>

### (3) 処理施設の種類等

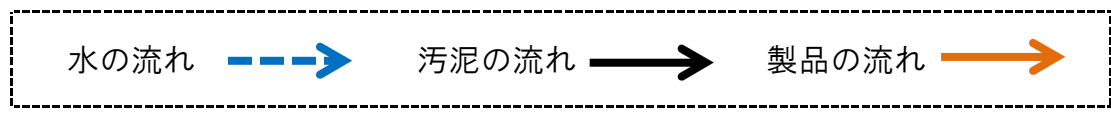
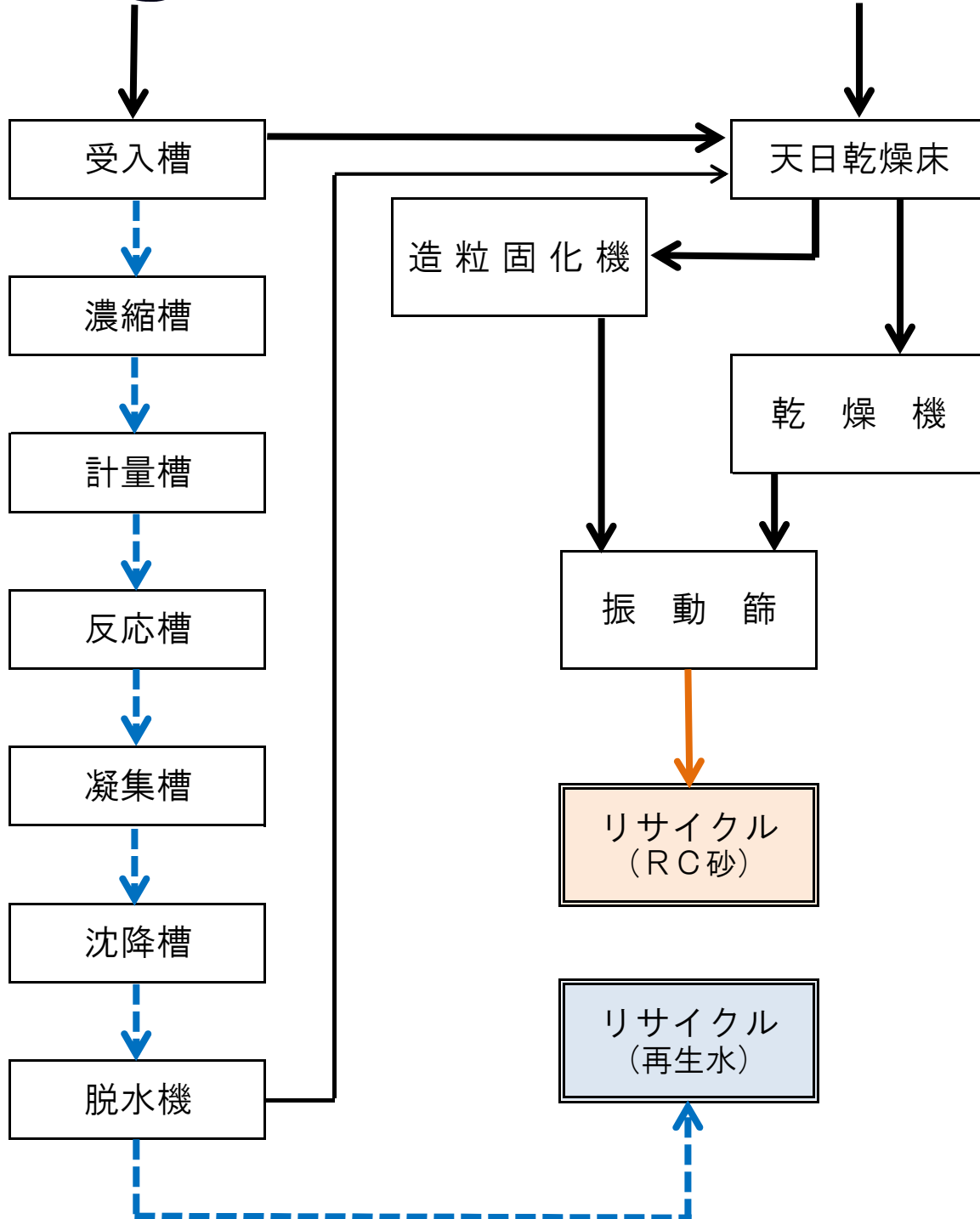
施設種類	産業廃棄物の種類	処理能力
天日乾燥	汚泥（管渠清掃, 道路・公園等の清掃に係るものに限る）	7.5m <sup>3</sup> /日
造粒固化		240m <sup>3</sup> /日
脱水生物処理	汚泥（有機性のものに限る）	8m <sup>3</sup> /日
回転乾燥	汚泥（自社処理後のものに限る）	8m <sup>3</sup> /日

(4-1) 処理工程図

汚泥(道路・管渠清掃等)  
[ 含水率多い ]

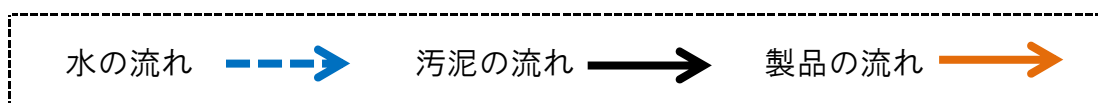
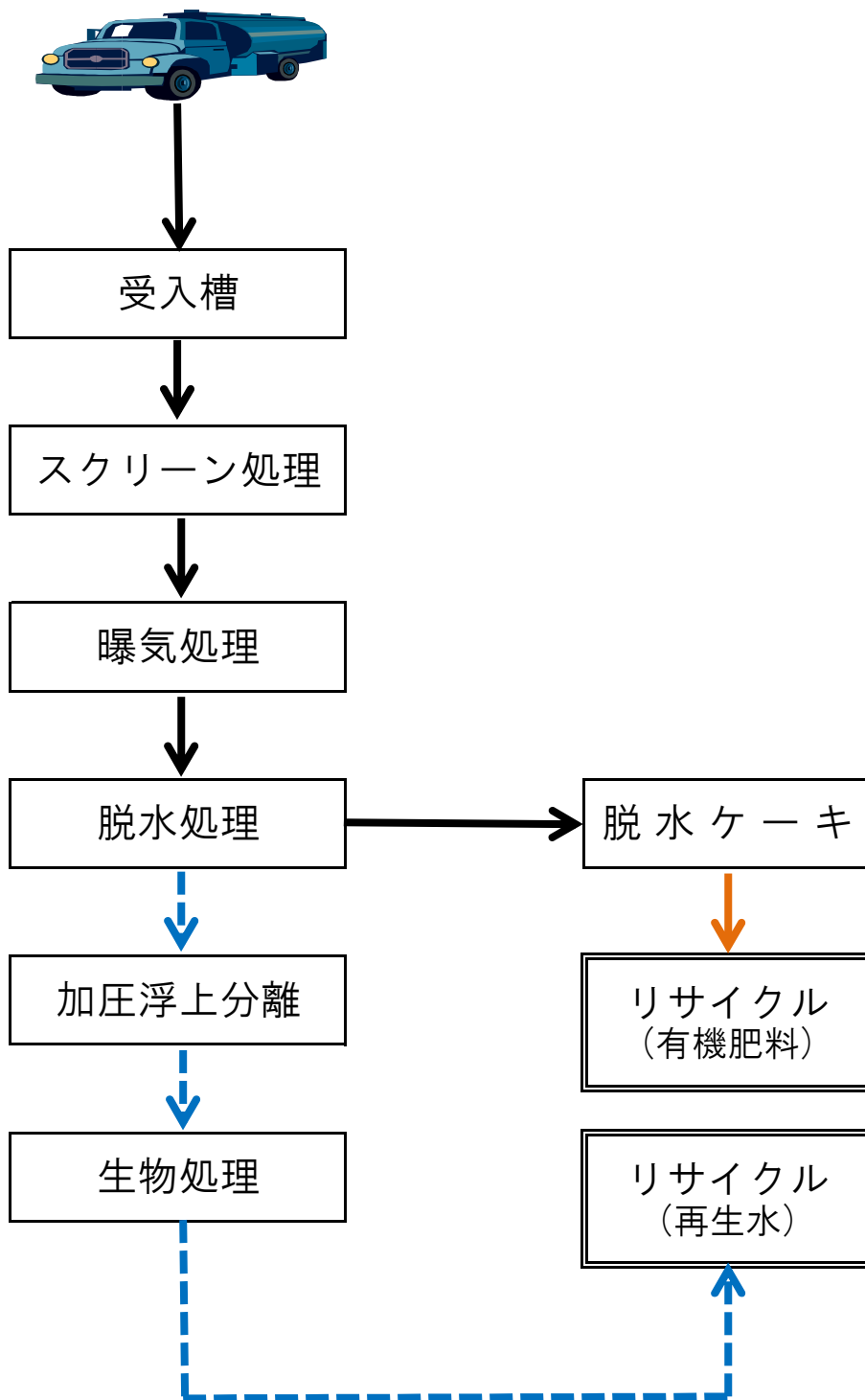


汚泥(道路・管渠清掃等)  
[ 含水率少ない ]



(4-2) 処理工程図

汚泥(動物・植物性の油泥)



(5) 処理実績/受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量t (8月～7月)			
			2012年 H24年	2013年 H25年	2014年 H26年	
一般 廃棄物	(i) 収集運搬	し尿	907	870	904	
	(i) 収集運搬	廃プラスチック類		5	10	9
紙くず			7	4	7	
木くず			1	1	1	
繊維くず			0	0	1	
金属くず			1	2	4	
ガラス他			0	0	4	
廃油			115	119	122	
汚泥			8,621	8,590	9,305	
	合計		8,750	8,726	9,453	
産業 廃棄物	(ii) 中間処理	汚泥	9,824	11,233	9,279	
	うち 再資源化等	汚泥	5,314	6,224	5,919	
	合計		9,824	11,233	9,279	
(iii) 最終処分	-		0	0	0	
	合計		0	0	0	
(iv) 中間処理 後の産業廃棄物	最終処分	汚泥	安定型最終処分 (委託)	206	273	350
		小計		206	273	350
	再資源化等	汚泥	リサイクル 製品化	3,309	4,128	3,736
		汚泥(肥料用)	再資源化 (委託)	58	58	101
		汚泥(コンクリート 固化用)		482	638	815
		廃プラスチック類		91	40	43
		木くず		117	321	286
	ガラス・がれき類	1,018		785	585	
	小計		5,075	5,970	5,566	
	合計		5,281	6,243	5,916	

## 10. 環境活動の今

(a) 汚泥処理施設の外壁を改装し、外灯にLED照明を採用しました。

(b) 電源スイッチへ「こまめに消灯」を促すシールを貼り、節電を心掛けています。

(a)

(b)



(c) 廃棄物処理施設の稼働及び清掃維持管理や事務所などから排出されるCO2の一部を国内クレジットにて償却し、温室効果ガスの削減に努めています。このカーボンオフセットへの取り組みのステッカーを(d)のように清掃車や営業車に貼り付けています。

(e) 月に一度、近隣の清掃活動を行い、活動の様子を玄関ロビーに掲示しています。

(c)

(e)



(d)



## [ホームページ]

詳細な事業活動に関する内容は、下記のホームページに記載しています。

URL : <http://www.sweeping.co.jp>

## [連絡窓口]

当社の環境活動や本レポートへのご意見、ご質問等がございましたら、下記のエコアクション21事務局までご連絡ください。

エコアクション21事務局  
メールアドレス : [eco21@sweeping.co.jp](mailto:eco21@sweeping.co.jp)  
電話 : 042-597-6111      FAX. 042-597-6115